## 厚生事業等に関するアンケート調査票

共済・互助会では、収支状況や組合員のニーズを基に、現在の事業を定期的(概ね5年ごと)に 見直し、効果的で持続可能な事業展開を図ることとしています。

共済・互助会とも、現在の収支は概ね良好に推移しておりますが、ニーズの面から必要があれば、今年度中に事業の見直し等について検討する予定です。

本調査は、その検討資料とさせていただくものですので、皆様の御協力をお願いいたします。

以下の問いにお答えください。

## 問1 基本事項について

	回答欄
<ul><li>(1) あなたの所属をお答えください。</li><li>① 小学校</li><li>② 中学校</li></ul>	
③ 高等学校 ④ 盲・ろう・特別支援学校 ⑤ 大学	
⑥ 教育委員会事務局(出先機関含む) ⑦ その他	
(2) あなたの勤務地をお答えください。 ① 加賀市・小松市・能美市・能美郡(川北町) ② 野々市市・白山市	
<ul><li>③ 金沢市</li><li>④ かほく市・河北郡(内灘町、津幡町)</li></ul>	
⑤ 羽咋郡(志賀町、宝達志水町)・羽咋市 ⑥ 鹿島郡(中能登町)・七尾市	
⑦ 鳳珠郡(穴水町、能登町)・輪島市・珠洲市	
(3) あなたの職種をお答えください。 ① 教員	
② 教員以外の職種	
(4) あなたの年代(平成30年4月1日現在)をお答えください。	
① 10代 ② 20代	
③ 30代 ④ 40代	
⑤ 50代 ⑥ 60代以上	
(5) あなたのご家族についてお答えください。	
① 18歳未満の家族がいる ② 18歳未満の家族がいない	

## 問2 共済組合の厚生事業について

(1) 共済組合では、下記の厚生事業を実施しています。各事業について、A~Cの該当するもの一つにチェックしてください。 ※限られた財源のなか、一つの事業を充実しようとすると、他の事業を縮小・廃止することも必要となります。 <u>BとCについては、チェック数がなるべく同数となりますようご配慮願います。</u>

									対象者及び	Α	В	С
区	分	事	業	4	名			事業内容	H29年度実績	継続してほしい	充実を希望	縮小・廃止 してもよい
	1	1 泊 2	日	ŀ	ř	ッ	ク	健康保持・疾病の早期発見を図るための1泊2日のドック (自己負担:25%)	希望する組合員 644人			
健	2	1 日	۲		ッ	,	ク	健康保持・疾病の早期発見を図るための1日のドック (自己負担:25%)	希望する組合員 2,124人			
	3	指 定 年	重歯	<u>A</u>	ド	ッ	ク	35歳・40歳・45歳・50歳の節目年齢の1日ドック又は1泊2日 ドック(自己負担:25%)	節目年齢の組合員 578人			
診	4	P E T 健 ド	診ッ		泊	2	日 ク	がんの早期発見を図るためのPET-CT健診・1泊2日のドック (自己負担:定率)	希望する組合員 52人			
	5	脳ド		"	ע		ク	脳卒中などの脳の病気の早期発見を図るための脳ドック (自己負担: 25%)	40歳以上の 希望する組合員 136人			
事	6	脳MRI	+	1 E	∃	ドッ	ク	健康保持・疾病の早期発見を図るための、脳MRIと1日ドックの 検査項目を網羅(自己負担:25%)	希望する組合員 120人			
	7	女性検	診(	乳	. <i>t</i>	<b>ν</b> Α	, )	乳がんの早期発見を図るための検診 (自己負担:原則なし)	希望する女性組合員 913人			
業	8	女性検診	} ( <del>-</del>	子语	宮 7	がん	ίυ)	子宮がんの早期発見を図るための検診 (自己負担:原則なし)	希望する女性組合員 1,063人			
	9	肺が	h	,	検	ì	診	肺がんの早期発見を図るための検診 (自己負担:なし)	40歳以上の 希望する組合員 563人			
	1	元気力で	'ッ	プ 1	セミ	ミナ	_	生活習慣病を未然に防ぐ方法及びこころのリラクゼーション法 (メンタルヘルスへの対処法)を習得するセミナー	希望する組合員 65人			
健	2	女性(	建	康		講	座	女性特有の疾病について知識や予防法等を習得する講座	希望する女性組合員 72人			
康	3	健康管	理	セ	111	ナ	_	メンタルヘルスのセルフケア及び悩みを持つ周囲の方への適切 な対応に関する講座	希望する組合員 81人			
づ	4	メンタルィ	ヽル	ス・	サ	ポー	-ト	希望する所属等へ臨床心理士を派遣し、メンタルヘルスに関す る講義等を実施	希望する所属 O所属			
7	5	教職員メン	タル	ル	—.	ム框	談	毎週水曜日及び第2第4土曜日に、臨床心理士による心の相談を実施(何回でも無料)※県教委からの委託事業	希望する組合員 及び家族 10人			
<	6	メンタル	^	ル	ス	相	談	医師・臨床心理士による心の健康に関するメンタルヘルス相談 (3回まで全額無料) 相談機関: かとうクリニック(金沢)、Jクリニック(金沢) 金沢こころクリニック(金沢)、井上クリニック(金沢) すずき心のクリニック(金沢)・すずき心のクリニック(小松) 小松市民病院(小松)、公立能登総合病院(七尾)	希望する組合員 及び家族 29人			
事	7	ストレ	ス	. 1	;	ッ	ク	こころのストレスの状況をチェックし、対処方法を助言	希望する組合員 9人			
業	8							巡回によるインフルエンザ予防接種を実施し、その費用の一部を 助成(教職員互助会と共同事業) (1,200円)	希望する組合員 3,963人			
	9	健康ポイ	ント	- 付	上与	事	業	健康診断結果等から個別性の高い健康情報を提供するインター ネットサービス	希望する組合員 1,047人			

(2)	現在実施して	いる厚生事業につい	て音見があれば	その事業名と音見を	具体的に記載してください。
(2)	が江天心して	いの子工事本につい	て心元ル めれいら	しいず木石し芯元と	ティアリン しんまんし アンノこの (*)

事業名	意  見
例:メンタルヘルス~事業	例:メンタルヘルス~について、~のような内容にしたらよい。

(3) 今後、共済組合の事業として、新たに実施したらよいと思う分野・事業がありましたら、具体的に記載してください。

例:~を目的として、~を対象に、~ような内容の事業を実施	

## 問3 互助会の事業について

- (1) 互助会では、下記の厚生事業及び給付事業を実施しています。各事業について、A~Cの該当するもの 一つにチェックしてください。
  - ※限られた財源のなか、一つの事業を充実しようとすると、他の事業を縮小・廃止することも必要となります。 BとCについては、チェック数がなるべく同数となりますようご配慮願います。

- ·			<b>本业中</b> (	H29年度	Α	В	С
区	分	事業名	事業内容 (()内は会員への補助額等)	実績	継続してほしい	充実を希望	縮小・廃止 してもよい
		施設利用補助					
		(1)水族館等	「のとじま臨海公園水族館、いしかわ動物園、ふれあい昆虫館」の利用に対する補助(100~300円)	3, 898件 (1, 420人)			
		(2)美術館等	「県立美術館、歴史博物館、七尾美術館、輪島漆芸美術館、能登島 ガラス美術館」の利用に対する補助(40~400円)	683件 (374人)			
			「辰口丘陵公園温水プール、一本松総合運動公園市民温水プール、いしかわ総合スポーツセンタープール、健民海浜公園プール」の利用に対する補助(200~620円)	1, 501件 (495人)			
		(4)スタジアム	「クアハウス九谷、スポーツギャザー770、珠洲ビーチホテルウェーブ」 の利用に対する補助(300~500円)	255件 (79人)			
	1	(5)スキーリフト	「県内スキー場」のスキーリフト券購入に対する補助 (400円)	612件 (357人)			
		(6)山の家	「白山室堂、白山南竜山荘」の利用に対する補助 (1,000円)	67件 (35人)			
		(7)プラネタリウム	「いしかわ子ども交流センタープラネタリウム」の利用に対する補助 (80~150円)	H30~実施			
厚生事			「辰口丘陵公園温水プール内フィットネスルーム、一本松総合運動公 園体育館 トレーニングジム、いしかわ総合スポーツセンタートレーニ ングルーム」の利用に対する補助(200~540円)	H30~実施			
業		(9)大野からくり記念館	「金沢港大野からくり記念館」の利用の際に団体料金適用	-			
	2		55歳以上で退職するとき、退職年度に家族と1泊以上の旅行をした際に補助(20,000円)	264件 (264人)			
	3	主催事業	のと里山空港利用東京1泊2日の旅 (互助会が5,000円を負担)	19件 (19人)			
	4	観劇等補助	能登演劇堂公演、県立音楽堂公演等を観劇した際の補助 (2,000円)	46件 (31人)			
	5	映画鑑賞券の販売斡旋	「コロナシネマワールド、ユナイテッド・シネマ、イオンシネマ、シネマサ ンシャイン」の映画鑑賞券の割引販売	182件 (41人)			
	6	日帰り温泉施設優待券の 斡旋	「テルメ金沢」、「ゆめのゆ金沢」、「ゆめのゆ加賀」の優待券の斡旋	892件 (33人)			
	7	生涯生活設計セミナー	55歳以上の希望する会員を対象に、生涯生活設計の知識・手法を 習得するセミナーを開催	124件 (124人)			
	8	健康管理事業	巡回によるインフルエンザ予防接種を実施し、その費用の一部を助成(共済組合と共同事業)(1,200円)	3, 963件 (3, 963人)			
岩	1	結婚祝品	会員が婚姻したとき (35,000円)	211件 (211人)			
福祉給	2	2 入学卒業祝品 会員の子が小学校へ入学したとき、中学校へ入学したとき、中学校を 卒業したとき(10,000円)		869件 (792人)			
付事業	3	永年勤続慰労品	会員期間が25年に達したとき (30,000円分の旅行宿泊券)	167件 (167人)			
未	4	ー度も婚姻することなく50歳以上で退職するとき (35,000円)		10件 (10人)			
短期給付事業		医療補助金					
		(1)自己負担補助	会員又は会員の被扶養者の医療費自己負担を補助(基礎控除額 14,000円)	3, 076件 (1, 494人)			
	1	(2)入院補助	会員又は会員の被扶養者が入院したとき(1日700円・入院期間180 日限度)	1, 405件 (837人)			
		(3)治療費補助	会員が健康保険法適用外で、はり・灸・あんま・指圧・マッサージ(病 気治療)を受けたとき(1回1,000円・1年度内10回限度)	1, 981件 (347人)			
		(4)介護料	会員又は会員の配偶者及び被扶養者である子が入院し、医師の診 断により同居家族でない介護者を付け介護料を支払ったとき等(1日 3,000円限度)	O件			

区	一 分	事業名	事業内容 「()内は会員への補助額等	H29年度	A	В	C 縮小·原	
	_		,	実績	継続してほしい	充実を希望	しても。	
	2	出産補助金	会員又は会員の配偶者が出産したとき (本人30,000円、配偶者20,000円)	407件 (402人)				
	3	特別出産補助金	会員又は会員の配偶者が第3子目以上の子を出産したとき (10,000円)	68件 (68人)				
短	4	介護休暇給付金	会員が介護休暇の承認を受けたとき (給料日額の100分の25相当額)	13件 (5人)				
期給	5	無給与休職者見舞金	会員が心身の故障により休職を命ぜられ、公の機関から給付金が支給されなくなったとき(給料の月額の100分の50相当額)	15件 (3人)				
付事業	6	傷病見舞金	・重度の傷病を受け退職を余儀なくされたとき(100,000円) ・業務に従事することはできるが身体が旧に復しないとき(50,000円 以内)	1件 (1人)				
	7	災害見舞金	風水震火災その他非常災害により、会員の住居又は家財に損害を 受けたとき (50,000円)	O件				
	8	死亡弔慰金	会員(320,000円・扶養すべき18歳未満の子がいる場合は献花料を給付)、会員の配偶者(220,000円)、会員の子・氏を同じくする親(30,000円) が死亡したとき	228件 (218人)				
長期給付事業	1	退職給付金						
(2)			事業・給付事業について意見があれば、その事業名と いる「貸付事業」、「育英・生活年金事業」についてもご意り				1	
		事業名	意見					
(3) 今後、互助会事業として、新たに実施したらよいと思う分野・事業がありましたら、具体的に記載してください。 例:~を目的として、~を対象に、~ような内容の事業を実施								
			まに、~ような内容の事業を実施					

問4 共済組合・互助会の事業の周知等について		
(1) 広報誌「福利いしかわ」(年4回全員に配付)を読んでいますか。 ① よく読む。 ② 記事を選択して読む。 ③ ほとんど読んでいない。(又は読まない。)(その理由	١	回答欄
③ はとんと読んでいない。(又は読まない。) (その理由 ④ 発行されていることを知らない。	)	
<ul><li>(2) 共済組合又は互助会のホームページにアクセスしたことはありますか。</li><li>① よくアクセスする。</li><li>② ときどきアクセスする。</li><li>③ アクセスしたことがない。</li></ul>		
④ あることを知らない。  ※共済組合ホームページ http://www.kouritu.or.jp/ishikawa  互助会ホームページ http://www.ishikyogo.or.jp		
(3) 事業等の内容は、どのような方法で知りますか。(複数回答可)		
① 職場で回覧された通知文等で知る。 ② 広報誌(福利いしかわ)を見て知る。 ③ 共済組合・互助会のホームページで知る。 ④ スマートスクールネットの「学校共済・教職員互助会からのご案内」を見て知る。	L	
<ul><li>⑤ 上司・同僚・事務員に聞いて知る。</li><li>⑥ その他(</li></ul>		
(4) 広報(通知文、広報誌、ホームページ)での事業の周知方法は、現行のとおりでよろしいですか。 ① 現行どおりでよい。 ② もうとして大統領とい。		
<ul><li>③ 広報誌の紙媒体での配付を取りやめ、ホームページ、メールによる周知で十分である。</li><li>④ その他( )</li></ul>		
<自由意見欄>		
〇共済組合・互助会に対して、ご意見があればご記入ください。		

ご協力ありがとうございました。